

日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2016年
2月16日発行

被爆者とともに3・1ビキニデーに参加を！

大阪・寝屋川から被爆者 3 人がビキニデー集会へ

ことしの 3・1 ビキニデーに大阪府寝屋川市原爆被害者の会（広長友の会）から 3 人の被爆者が参加します。3 人はともに去年の NPT・ニューヨーク行動の参加者です。

同会は、2008 年に被爆証言の本『ヒロシマ・ナガサキ 八月のあの日―寝屋川・被爆者からのメッセージ』を出版。その後、多くの人たちの協力で 2011 年 2 月に英訳本「That's August Day」を出版し、核保有国の大使館を訪問して届けました。

北朝鮮には郵便で送りました。昨年の NPT・ニューヨーク行動には松山五郎さんをはじめ 4 人が英訳本を持って参加しました。（右上写真の左端が松山さん）

寝屋川の被爆者は、体験文集や英訳本を作る運動の中で鍛えられ、ノーモア・ヒバクシャ訴訟の傍聴に常に 4～6 人が参加する中で、一日も早く核兵器の廃絶を世界が合意するために力を尽くすことが自分の使命だと捉えるようになりました。

松山五郎さんは、去年のビキニデーでアメリカフレンズ奉仕委員会のジョゼフ・ガーソンさんに会い、4 月にニューヨークで再会した時に「雅尊（ガーソン）」と彫ったハンコをプレゼントしたら、とても喜んでくれました。今年のビキニデーでガーソンさんと静岡で再会できることを楽しみにしています。



青森県が3・1派遣目標(5人)を達成！

青森県原水協が 3・1 派遣目標 5 人を上回り 6 人の代表が決まりました。八戸原水協と南黒原水協からビキニデー初参加の代表が決まりました。八戸原水協の代表は、今の情勢を考えて、ビキニデーに参加して入門分科会で学びたいと新婦人の方が決意。南黒原水協の代表は、税務署勤務時代から毎年平和行進を歩いてきて、退職してから地域を盛り上げたいという方です。